7-2 キーボックスの再生作業

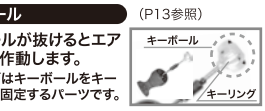
1.再生に必要な工具を準備します（写真1）

未使用のカートリッジボンベと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。

注意 カートリッジボンベはシャワーヘッドの代用はできません。

2.使用済カートリッジボンベを回してキーボックスからはずします。（写真2）

カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを写真２の様に回しながらキーボックスから外します。



カートリッジボンベのシールの指示方向に合わせて取付ます

3.エアーバッグ（気室）からエアを抜きます（写真3）

気室からガスを抜く作業を行います。空起物などの無い平坦な場所にエッリエアーシャッターを広げて各気室部分を押さにしてガスを抜きます。

ためたり、置んだりする行為はおやめください。内部部品に損傷を与える場合があります。根気よく、ほぼ完全にガスが抜けるまで行ってください。

注意 この作業が完全に行われない場合は各気室部分の収納がうまく出来なくなります。また、エアバッグの誤作動の恐れがあります。

次ページへ

写真1

写真2

写真3

はじめに ヒットエアーに装備されたアクセサリー

CO² カートリッジボンベ (P14参照)

キーボックスが作動するとボンベからCO²ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。

キーボックス (P12参照)

エアバッグの基盤部(作動装置)

キーボール (P13参照)

キーボールが抜けるとエアバッグが作動します。

キーリングはキーボールをキーボックスに固定するパーツです。

ワンタッチリリース(コネクター) (P15参照)

乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。

(YKKと共同開発したバックル型)

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接合して下さい

ループセッター (P16参照)

伸縮ワイヤーをバイクに取付ける際に固定するネジ

伸縮ワイヤーをバイクに取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。

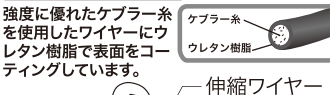
伸縮ワイヤー (P16参照)

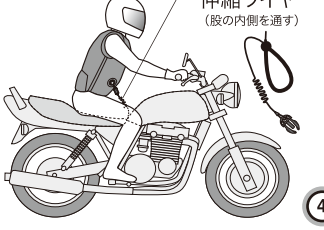
強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。

プロテクターチューブ (P16参照)

バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー

伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレーム、ハンドルなどの巻きつけ箇所の形状に応じ、適度な長さで切断して下さい。

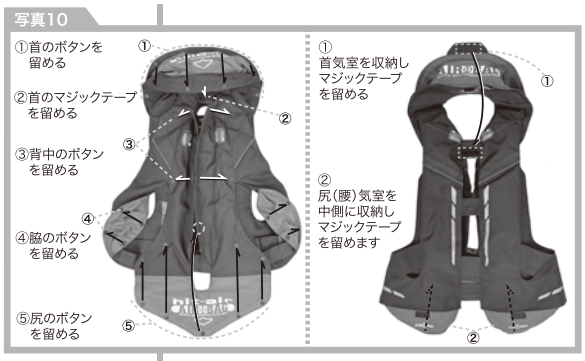




7-2

10.各気室を収納してボタンやマジックテープを留めます。（写真10）

写真10



11.未使用の適合カートリッジボンベ*を取付けます(写真11)

未使用のカートリッジボンベを、キーボックスの取付けネジ部分に根元までねじ込んで下さい。異常が感じられる場合は取扱店にご相談下さい。

カートリッジボンベのシールの指示方向に締めて取付けます

写真11

注意 カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグ作動の際に膨らみが弱くなるなどの誤作動の原因になります

12.キーボックスカバーを閉じる（写真12）

ワンタッチコネクターメス部をキーボックスカバー穴から外に出し、キーボックスのカバーを閉じて下さい。

写真12

完了

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 9. ヒットエアー付シャワーが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検（メンテナンスチェック）を取扱店、又は当方に依頼（有料）して受けてください。

注意 10. 保管は、折り置んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊りさげて保管してください。又、持ち運びや移動する際でも、保管場所は、高温多湿の場所は避けてください。

注意 11. ヒットエアーに付シャワーに、針を通したり、エンブレム等の縫付けやプイロットの使用はおやめください。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。エンブレム等の取付可能な位置は取扱店にお尋ねください。

注意 12. バイクに取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けてあるか、各自チェックしてください。不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。

注意 13. ヒットエアー一体型エアバッグは洗濯、クリーニングはできません。

注意 14. キーボールに取付けられたワイヤー及びボ伸縮ワイヤーに、異常（ほつれ、きず、擦れ、切れ等）が確認された場合には、部品交換してください。